

平成30年度予算見積調書(9月補正予算)

課室名：農村整備課
 担当名：水利施設整備担当
 内線：4347

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B2	かんがい排水事業（長寿命化対策）			一般会計	農林水産業費	農地費	土地改良費	かんがい排水事業費	
事業期間	平成28年度～	根拠法令	土地改良法第85条、交付要綱（農地耕作条件改善事業交付金、農業水路等長寿命化・防災減災事業）	宣言項目		09	儲かる農業の推進		
				分野施策		040936	農業の担い手育成と生産基盤の強化		
1 事業の概要 基幹的農業用排水施設について、老朽化した施設の長寿命化の観点からの確な予防保全対策を行い、国土強靱化を実現する。 (1) かんがい排水事業費 367,000千円 (2) 事務費 18,350千円				5 事業説明 (1) 事業内容 国 5/10 かんがい排水事業（長寿命化対策） 385,350千円 ア 予算額 種別 新規・継続の別 地区数 補正前 補正額 基幹水利施設補修型 継続 15 1,492,100千円 367,000千円 新規 1 14,300千円 計 16 1,506,400千円 367,000千円 事務費 - 75,320千円 18,350千円 負担協定 (2) 14,000千円 合計 16 1,595,720千円 385,350千円 イ 工事内容 種別 地区数 事業量 基幹水利施設補修型 16 揚水機場補修8機場、排水機場補修5機場、堰補修2箇所等 (2) 事業計画 ア 目標水準：用排水施設の整備 イ 事業計画：(用排水改善面積) 事業計画 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度 平成32年度 546ha 1,087ha 1,925ha 773ha 108ha (3) 効果 基幹的農業用排水施設について、施設の長寿命化の観点からの確な予防保全対策を行うことにより、用水不足・湛水被害が解消し、農業生産性が向上するほか洪水被害の軽減などが図られる。 (4) 補正予算の概要 国の交付金の追加割当による増額					
2 事業主体及び負担区分 事業主体：県 負担区分：（国・県・市町村改良区） 工事費：（5/10・2.5/10・2.5/10） 工事雑費：（0/10・7.5/10・2.5/10） 事務費：（0/10・7.5/10・2.5/10）									
3 地方財政措置の状況 普通交付税（補正係数） （区分）財源対策債償還費 農業農村整備事業に係る事業債の20%									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 なし									
予算額		財源内訳						一般財源	補正後の 予算額
		国庫支出金	分担金・負担金	諸収入	県債				
決定額	385,350	180,200	96,337		108,000			813	1,981,070
現計額	1,595,720	743,905	398,839	14,000	351,000			87,976	